

平成 2 1 年度 実施事業	事務事業名 市民農園に要する経費
-------------------	-------------------------

区分	番号	名 称
章	2	自然とともに暮らすまち
節	2	自然を生かした潤いのあるまちづくり
施策	1	人と自然が共生する潤いと安らぎのある環境の創出
小分類	4	自然とのふれあいの場の整備
主要な施策	1	地域の自然資源を活用した自然とのふれあいの場の整備
事務事業番号	001	事務事業コード 22141001 事業開始年度 昭和 1 2 年度 事業終了年度 平成 - 年度

会計種別	一般会計	予算書上の事務事業名	市民農園経費
------	------	------------	--------

部 名	観光経済部	グループ名	農林水産 G
-----	-------	-------	--------

統合前または名称変更前の事業名	
-----------------	--

事務事業の目的と成果

対象	(何を対象にまたは誰を対象にした事務事業なのかを具体的に記載ください) 市民
手段 (事業の内容・活動)	(目指す姿を実現するためにどのような手法で行うのか、事業の内容を具体的に記載ください) 札内に市民農園を開設 区画数 5 8 区画 1 区画面積 4 9 m ² 開園期間 4 月 2 4 日 ~ 1 0 月 3 0 日 使用料金 7 , 0 0 0 円 / 区画 募集方法 広報 4 月号にて募集。定員オーバーの時は抽選する。 その他 抽選会、8 月に専門家による野菜等の栽培講習会を行っている。 管理人に現地指導及び、農園の維持管理をしていただいている。
目指す姿 (成果)	(事務事業を実施することでどのような状態にしたいのか具体的に記載ください) 農作業を体験することにより、都市住民が自然とのふれあいや農業への理解を深め、利用者同士の交流を図る。
根拠法令等	(事業を実施する際、根拠となる法令・条例・規則・要綱等の名称をすべて記載ください) 特定農地貸付に関する農地等の特例に関する法律施行令

指標の推移

区 分		単位	区分	21年度 実績	22年度 目標	23年度 目標	24年度 目標	25年度 目標
成果 指標	利用された区画数	区画	目標値	50	58	58	58	58
			実績値	52				
	前年に引き続いての申込者数	人	目標値	33	39	39	39	39
			実績値	44				

事業費の推移

区 分			単位	21年度 決算	22年度 当初予算	23年度 見込	24年度 見込	25年度 見込	23～25年度 合計
事業 の 財 源 内 訳	国庫支出金	名称	千円						0
	道支出金	名称	千円						0
	地方債	名称	千円						0
	その他	名称 市民農園利用料	千円	364	406	0	0	0	0
	一般財源	名称	千円	185	151	0	0	0	0
合 計				549	557	0	0	0	0
(参考) 上記事業を実施する上で 必要となる人件費			職 員	千円	325	341			
			嘱 託 員	千円	0	0			
			臨時職員	千円	0	0			
			合 計		325	341			

担当グループによる事務事業評価の内容

1. 事務事業の妥当性について			
今後も市が事業 主体として実施 していくことは 妥当ですか？	→	妥当である 妥当ではない	→ 妥当である理由、妥当ではない理由は何ですか？ 平成21年度事業仕分けにおいて、市の事業として廃止が適当であり、民間へ移行すべきとの評価を受けたが、受け皿となる事業者がないことから平成22年度においても、市が事業を継続する。
2. 事務事業の成果について			
成果はあがっていますか？	→	成果があがっている どちらかといえばあがっている 成果があがらない	→ 成果があがっている理由、あがらない理由は何ですか？ 前年度に比べ、利用区画数が減少したが、市民農園利用者からのアンケート調査では、来年度以降も継続して利用したいとの回答が76.3%であり、当該事業の要望が高く、成果があがっている。
3. 事務事業の成果向上について			
成果を向上させることはできますか？	→	大きく向上させることができる 少し向上させることができる 向上させることはできない	→ どのようにして向上させますか？向上させることができない理由は何ですか？ 利用者の募集方法については、広報紙、市ホームページ及び前年度利用者に申込み用紙を直接送付し、利用者増加を図る。また、1人2区画利用できるようにする。
4. 事務事業の経済性・効率性について			
成果を落とさずにコスト（予算や人工、所要時間）を削減することはできますか？	→	削減できる 削減できない	→ どのような方法でコストを削減しますか？削減できない理由は何ですか？ 土地所有者の協力により最低限の経費で農園の管理を行っており、これ以上の削減は難しい。

担当グループによる評価

改 善	左記の評価を選択した具体的な理由（根拠）	平成21年度事業仕分けにおいて、市の事業として廃止が適当であり、民間へ移行すべきとの評価を受けたが、受け皿となる事業者がないことから平成22年度においても、市が事業を継続する。また、今後の事業のあり方については、民間事業者による新たな事業の展開も視野に入れ、検討の必要がある。
-----	----------------------	--

総合的な評価（当該事務事業の方向性）

改 善	備考	担当グループの案通り改善を進めるべき。
-----	----	---------------------

評価の種類

- 拡大（事務事業の規模や経費を拡大し、これまで以上に強力に推進する事務事業）
- 維持（現状の対象や目指す姿、手段などに変更が無く、今後も実施する事務事業）
- 改善（現状の手段や経費などを見直し、成果指標の向上等を行う必要がある事務事業）
- 休止（暫定的に休止する事務事業）
- 終了（当初から決められていた事業期間が終了または成果品等が完成し、目的を果たした事務事業）
- 廃止（当該事務事業の予定を変更し、廃止する事務事業）